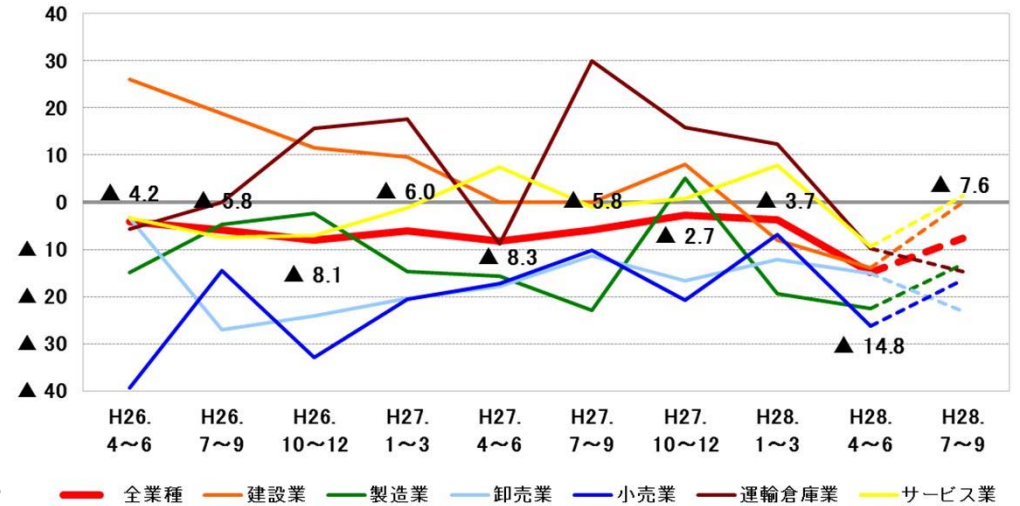


熊本地震の影響もあり、全業種において業況DI値悪化。

- 平成28年4～6月の自社業況DI（全業種）は▲14.8（前期比-11.1ポイント）となり、大幅に悪化した。
- 業種別にみると、運輸・倉庫業（前期12.4→今期▲9.8）が3期連続で悪化になったほか、小売業（▲6.8→▲26.2）、サービス業（7.8→▲9.4）で大幅に悪化した。建設業（▲8.1→▲13.9）や製造業（▲19.4→▲22.6）、卸売業（▲12.1→▲15.0）も悪化となっており、全業種で悪化する結果となった。熊本地震に伴う旅行客の減少や消費の減退などが、幅広く業況の押し下げ要因となった。
- 全体を項目別で見ると、生産額・売上額・完成工事額、受注価格・販売価格も下落したことから、営業利益も悪化している。
- 次期（平成28年7～9月）は▲7.6（今期比+7.2ポイント）と、改善の見通し。しかし地震の影響は和らぎつつあるものの、慢性的な人手不足、消費の減退への懸念から、中小企業においては先行きへの慎重な姿勢を崩していないと考えられる。

【自社業況の景況判断推移（業種別）】



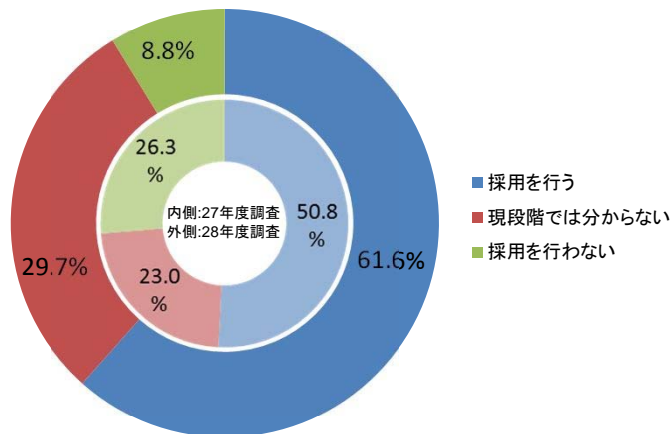
平成28年度の採用動向について

- 本年度に「採用を行う」企業は61.6%で、昨年同時期の調査時点と比べて+10.8ポイント、「採用を行わない」は8.8%（同一-17.5ポイント）で、採用意欲の高まりが見られる。
- 採用予定のある企業において、正社員の採用は前年並みだが、非正規については37.2%

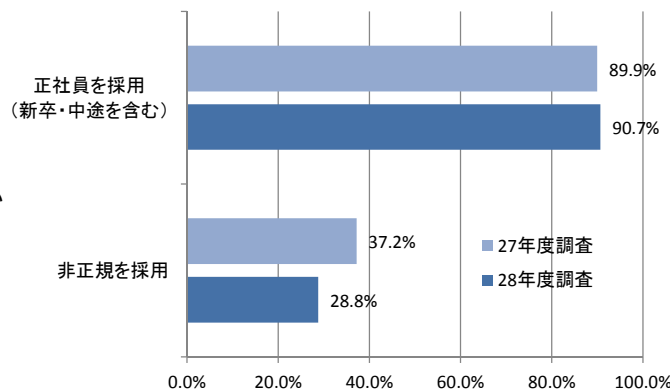
（前年比▲8.4ポイント）と、減少となった。

- 採用予定の企業のなかでも、正社員については昨年と比較して、「増やす」は52.7%、「昨年並み」が42.9%、「減らす」が4.3%であった。

◆今年度の採用について



◆採用の内訳（複数回答）



◆正社員・非正規社員の採用動向

